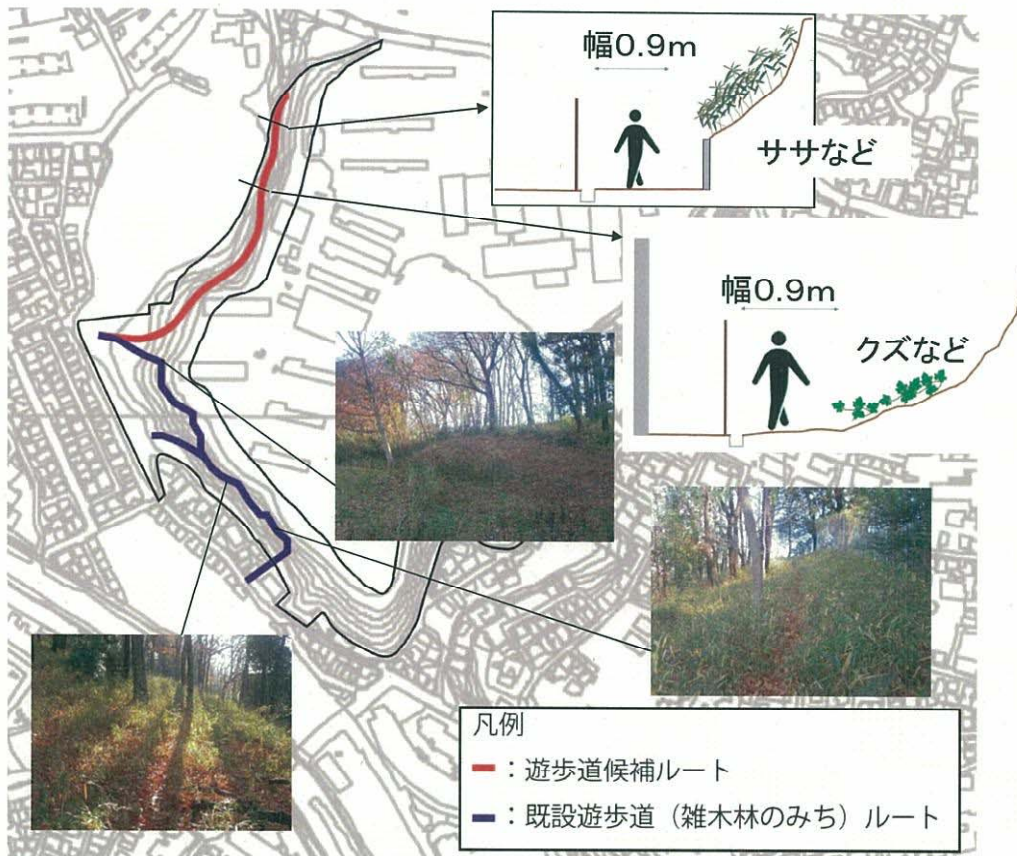
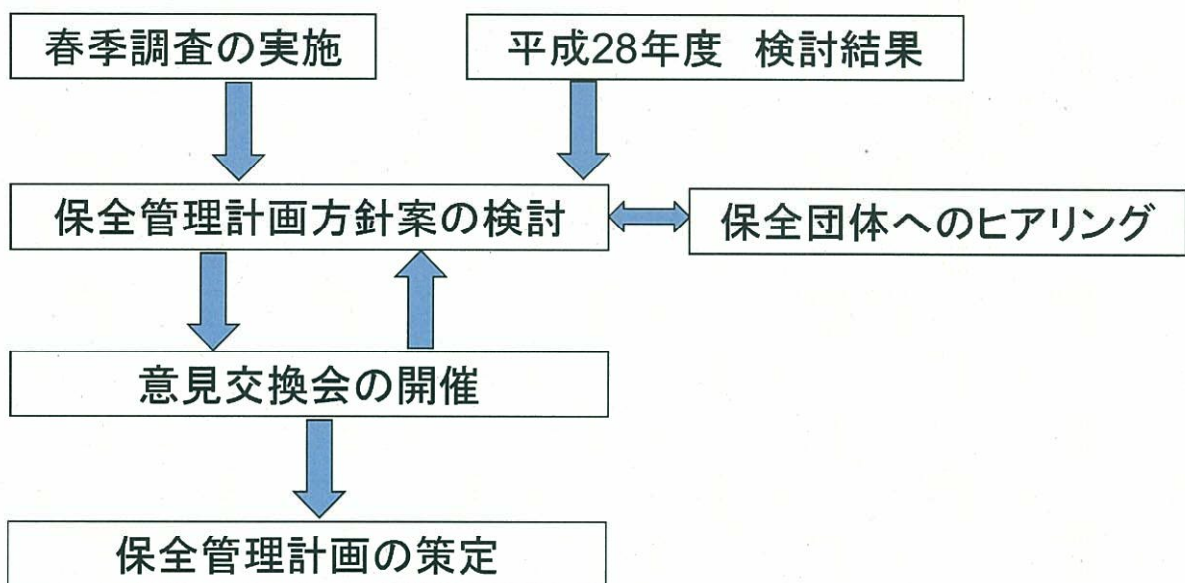


「自然観察路」整備(案)



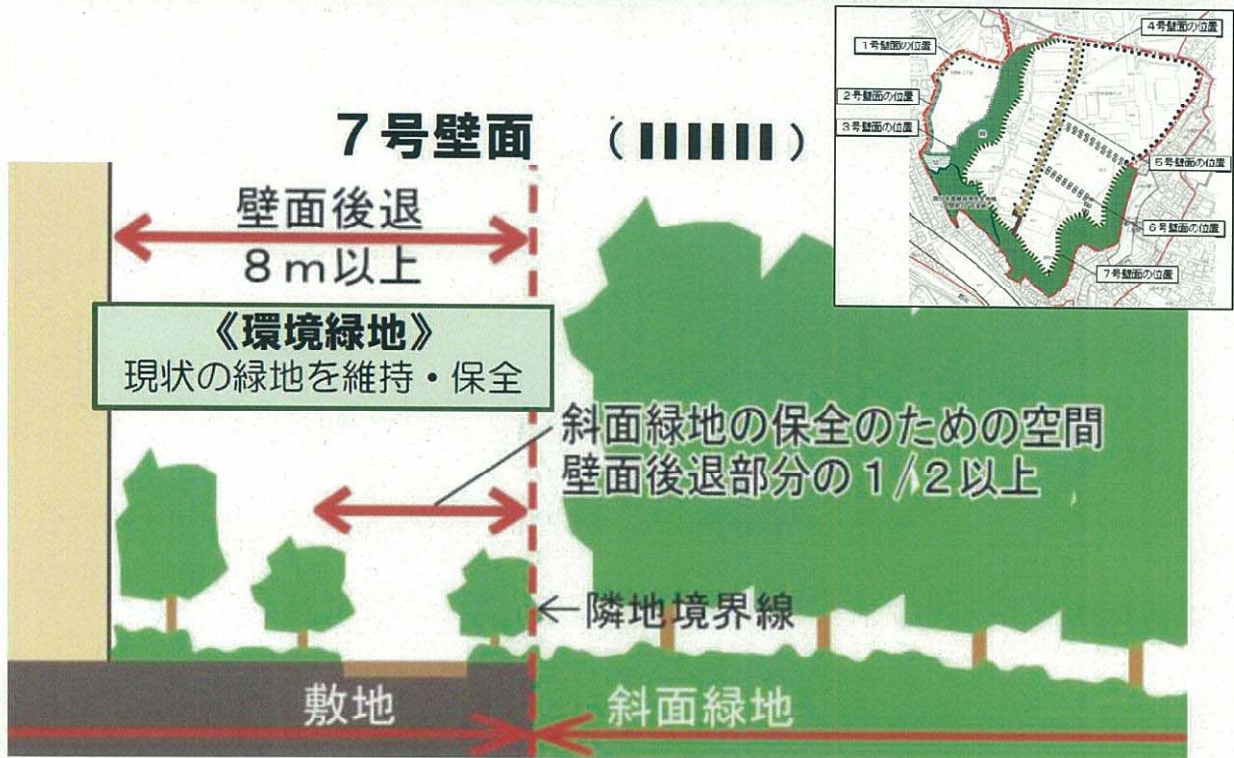
21

今後(平成29年度)の予定



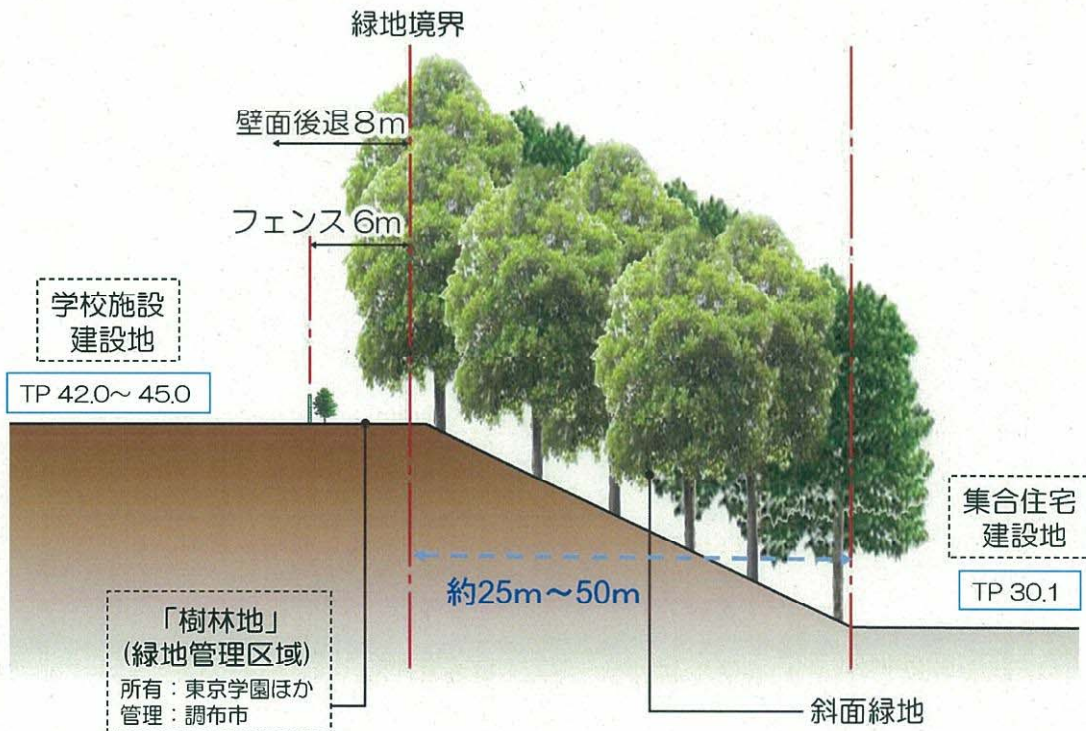
22

参考資料〔7号壁面断面イメージ〕



23

イメージ図



24

資料 6. 意見交換会質疑応答概要

崖線樹林地（入間2丁目樹林地）の保全管理計画策定に向けた意見交換会

意見交換（質疑応答）

●意見1

・7号壁面の管理用通路を作るお金は、調布市が出すのか。また、土地は、民間のものを借りるのか。

⇒調布市が出して施工する。土地は、民間のものを借りる。

●意見2

・7号壁面の管理用通路のイメージと自然観察路が、実際どのように作られるのか。自然観察路と、今回整備される管理用通路が同じものなのかどうか教えてほしい。

⇒管理用通路は、自然観察路とは別に民間の土地にできる予定。自然観察路は、既にある道につながるように、自然を観察しながら通れる幅1.2m程度の道を考えている。

●意見3

①4m幅の保全通路は決定事項なのか。それならば、これまで地域住民に対してどのように開示してきたのか。樹木を伐採し4m幅の管理通路を作るところまで開示されているのか。

②なぜ4mも必要なのか。

⇒①入間町周辺地区計画という地区計画が平成28年に決定している。その地区計画の中で4mの通路については壁面後退した8mの2分の1を利用して環境を保全するための空間にするということが、都市計画の中で決まっている。調布市の都市計画課で、平成27年頃に入間町周辺地区のまちづくりというパンフを作って、説明会等、意見交換を3～4回ぐらいは開催した。それを、東京都の都市計画審議委員会に諮って決定している。樹木を伐採し4m幅の管理通路を作るところまでは開示していない。

②トラックが入れることと、倒木などがあつた際に小型のレッカー車が入れないと作業が出来ないということもあり、最低でも4mの車道幅は要ると考えている。

●意見4

①本当に4mの道路や大型のトラックが入らないと保守出来ないのか。今までどうされて保守されていたのか。

②自然観察路に人が入るとマンション入居者のプライバシーは著しく侵害される。そこまでして自然観察路を新設する理由が分からない。

⇒①NTTが斜面地を含めて一体的に持っていたため自由に使えたが、調布市は、斜面緑地の部分しか寄付をいただいていないため、斜めの所に車が乗り入れて通行することができず、平場の所で管理車両が通れるような通路を確保したい。中に入るのを想定している車両を2tトラックと、吊り上げるための15t程度のクレーン車が通れる道幅ということで、4mを設定している。

②自然観察路については、多くの方が立ち入らないで欲しいということであれば、そういった計画を来年度、保全管理計画を作る時の利用の方向性という形でまとめることも当然必要。

●意見5

①こういった道路が全周において本当に必要なのか。

②道路の工事の進捗について、既に施工事業者が決まって、伐採工事が入っているのか。

⇒①中からアクセスすることが自由に出来なくなるので、市としては中央に出来る通路から両側に入って行けるように通路を計画している。

②樹木の伐採工事については、まだ施工業者は決まっていない。2月の中旬ぐらいに伐採工事をする施工業者を決定して、その後工事にかかるというような考えでいる。

●意見6

①どれくらいの頻度の倒木を考えているのか。

②道を作ると、住民や関係者が使うと思う。それを排除する手立てを考えているのか。

⇒①倒木の頻度は想定していない。

②今考えている所では、施錠することによって、基本的には門扉を付けて市が管理するか、あるいは市の委託から受けている業者や市民団体が使うことで考えている。

●意見7

・管理用の通路は、斜面にこれはかかるのか、それともこれは、まだ平地なのか。

⇒基本的にはほとんど斜面の上端で、場合によっては斜面の方に入るということもある。

●意見8

①木を切って、4mの道路付けをするのか。

②木が伸びたらどうなるのか。

③新たな木は市が植えるのか。

⇒①8mの空間を取って4mの道路を作る。その中で出来るだけ樹木を切らないように線形を取りながらすすめる。

②今でも相当大きくなっている木を想定している。この木は、クヌギなので少し更新をした方がいい所もある。伐採してもまた新しく新植すれば、問題解決できると思っている。

③市の方で保障してくれということになれば、保障することになると思う。

●意見9

①管理用道路は、新たに作るのか。斜面を削るのか。

②市が寄付された土地に道路を作るのか。

⇒①管理用通路はこれから新たに作りたい。斜面ギリギリの所を中心につくる。

②市は建物が建てられないその民間の土地を借りて、市がお金を出して通路を作る。

●意見10

・道路にかかっている部分は、25%以内の範囲内で林を伐採して管理用道路をつくるのか。

⇒土地の所有者が工事をする時に、全体の中に25%以上は緑化するというのが、地区計画で決まっている。土地のどこに緑化してもよく、それは事業者の各施設を検討する中で考えることである。

●意見11

①現場を見に行く機会を作る予定はあるのか。

②もっと明細な図面を作ってほしい。

③地下水の流れを調べてもらいたい。

⇒①現況の確認をしたいという要望があれば、意見を踏まえた上で進める必要があると考えている。

●意見12

- ・生態系に異常は無いのか凄く心配である。その辺に関してはどうなのか。

⇒生き物についても今回、平成28年に調査をしてきており、なるべく生態系を守りながら、樹林の所も保全をしていきたいと考えている。

●意見13

- ①チラシだけだと4m伐採するとか、そういうことが分からない。改めて案内された方がいい。
- ②適正に管理をする、もしくは維持をするためには車が入らないといけないというのが大前提になっているところから考え直した方がいいのではないかと。

⇒改めてそういう意見交換、管理用通路に関する所の皆さまのご理解をいただきながら、前に進めたいと思っている。今日、十分な説明は出来てないところについては、別の機会を設けて、管理用通路に関しては少しやり取りをする必要があると考えている。

●意見14

- ①2月の中旬に業者を決定して、工事に着手するというのはあまりに拙速なのではないか。
- ②周辺住民の方々のコンセンサスをもう少し作った上で、どういう方法で管理通路を作っていくのかを考え直した方がいい。例えば東京学園あるいは老人ホームを作られる方に、倒木があったら中を通らせてもらって、樹木の搬出等をさせてくださいという前提で地区計画を作っていれば、こんなことにはなっていないのではないかとと思うが、その辺りはどうなのか。

⇒地区計画を作る際に、具体的な管理まで想定して倒木の頻度やリスクを考えていたわけではないが、崖線樹林地を適正な状態で管理するために、何らかの車が入れる通路は必要と考えている。

●意見15

- ①保全等の件については、以前住民が入って、みんなで協力していろんなことをやった時は、倒木もなにも無かったのではないかと思う。住民が入らなくなった段階で倒木が起きて管理不十分になったため、市がこれを管理しなければならない。こういう事例があるというのであれば、もう少し示していただきたい。
- ②自然学習ゾーンの意味がよく分からない。既にあるとのことだが、例えば地元の小学生などが授業の一環として使うようなことがあるから設けているということなのか。
- ③管理通路は、時間管理が出来ると聞いているが、この自然学習ゾーンは、24時間誰でも入れるという状況にされるのかどうか。その場合、とんでもないことが起こる可能性も無いとはいえない。自然学習ゾーンっていうのは何のために作って誰が利用して、どういう管理をするのか教えてほしい。山側に向かっている方にとっては、自然学習ゾーンが新たに出来ると、人が入ってくる、下手をすると24時間いつでも入ってくる、何かがあるということについての懸念は出てくると思うので、次回以降でよいが、その辺を明確にご説明お願いしたい。

●意見16

- ・図面の平地になっている部分は、この管理されている方たちと調布市との交渉などはあるのか。交渉なしで伐採とか出来るとすれば、自由にギリギリまで切るみたいなことになる可能性というのはあるのか。

⇒事業計画については、個別の事業計画について三つあり、いずれも開発事業になるので、市とか東京都に許可の申請、届け出等、必要な届け出はなされると思う。ただ全部、終わっているわけではないので、それぞれの事業についてはそれぞれの事業者に聞いていただけるとありがたい。

●意見17

①世田谷区と三鷹、小金井、国分寺の崖線の管理という問題について、こういう上に道路作るのはどうなのか。

②4mの道路を作って管理するということが、他市の方針としても非常にポピュラーな方法なのかどうか、この方法が果たして合っているのかどうか、他市との考え方の違いや、やり方の違いがあるのであれば教えてほしい。

⇒①世田谷の方では主に世田谷トラストまちづくりという区の外部団体の方が、主に崖線樹林地の保全や管理をやっている。斜面地に関しては、いずれも多分道路が付いているはずである。今回、特にNTTから寄付を受けた西側斜面地の下については、今マンションの敷地、斜面地の法肩、上の方はNTTの敷地ということで、道路が接道していない。連続した斜面地の所のほんとはごく一部しか道路が無い所っていうのは、なかなか少ないのではないかと思う。

②市内の崖線樹林地に関しては、ここまで連続した緑というのはあまりない。深大寺の方にカニ山という所があり、かなりまとまった緑があるが、いずれも斜面地の所には、道路が現地まで続いており、管理車両といった管理をするための通行に問題は特に無い形で今までやってきている。ここは、通常管理していた場所とは、かなり異なるのではないかと考えている。

●意見18

・道が無い所もあるが、崖線管理上それで何か問題が生じているからこういう方法を取るのか。

⇒世田谷の樹林地を見ると、上か下かには道がある。私の見た中では、両方無い所はおそらく無いと思う。車で中からアクセス出来るかどうか、難しいところもあるので、出来れば上か下に通路が欲しい。下の側の方については、建物が既に建っているような状況で、なかなか道路を作るわけにいかない。中にセットバックをするという都市計画になっているので、そこを利用させてもらうのが一番効率的という判断をしている。

●意見19

・最近よくタヌキを見るようになった。自然観察路を作らないで済むのならば作らないで欲しい。

●意見20

・東側についていただいた図面を見ると、敷地ギリギリまで斜面で、壁面後退のようなものが見受けられないが、これについてはどのぐらいまで把握しているのか。

⇒建築計画の話になってしまうとあまり把握が出来ていない。おそらくサービス付き高齢者住宅の関係の話だと思いますので、そちらに直接ご連絡をいただければと考えている。

●意見21

・サービス付き高齢者住宅敷地から8mセットバックした所に道路らしきものというのが記載されていない。敷地内には道路は作らないって話ですね。

⇒敷地の図面に管理用通路がどのように入っているかというのは把握出来ていない。

●意見22

・この斜面に道路を作るのか。そうすると相当な数の木を伐採しなければ、道路は作れないのではないか。

⇒斜面地に通路を作ることは無い。

●意見23

- ・管理は非常に重要だとは思いますが、保全というところと利用者の安全性や景観についても考慮が必要ではないかと思う。今回案というのが一つしかない。2案・3案を提示していただいて、メリット・デメリットを定量的な数字で示していただいて、管理面だけでなく、全体的に最適案を選んで進めるべきではないか。
- ・生態とかいろいろ調べているが、調査しただけで案を進めるにあたって、その案がこの生態系にどういう効果があるのかが示されていない。それについては、プライバシーや、環境の保全という面でも同じことが言えると思うので、その案を実施した上でどうなるかというところも考慮して、考えていただきたい。
- ・意見交換会の開催というのが今日の日付しか無いが、先ほどの話の流れを聞いていると、この計画の案というのは、一旦再考されるというところで、また何か意見交換会等も開催されるのか。
- ・事業計画工程表のスケジュールも、既に1月から始まっている日取りになっているが、これについても再考するってことで認識していいのかと思っており、そこについてお答えいただきたい。
- ・調査のためにもお金とかかかっていると思うので、工事の影響についても、そこまで調査したのであれば、影響等もお聞かせいただきたい。
- ・調布市としてはもちろん緑地の管理というのも必要だと思うのが、住民の住みやすさとかそういった面とかも考慮する必要があると思うので、その管理という面ではなく、住民や生物とか環境についても考慮した上で、計画を再考していただきたいとふうに感じている。計画の再考があるのかどうかというのだけ、お答えいただきたい。

⇒今回皆さんにお知らせをした内容の一つは、現況の自然環境の調査をした調査結果についてである。意見交換会の開催後に何も入っていないのは、現地調査をした結果を今回示して、今日いただいた意見を踏まえて、平成29年度に保全管理のための計画を作って行きたいと考えている。

- ・皆さんたちとの意見交換というのは今日が最後ではなくて、今日が最初である。まずは現況の調査結果を示して、これがスタートだというふうに考えていただければと思う。
- ・管理用の通路についてはこの計画とは別で、それは斜面地の維持管理をするために通路が必要だという話をさせていただいて、4m幅の通路をこれから設置していきたいということである。1月から樹木伐採工事というのは、2月の中旬を予定して、現在進めていきたいと考えているが、今日、数多くご意見をいただき、細かい所がなかなかご理解いただけない、また今日まだいらっしゃらない方も相当数いらっしゃると伺っているので、進め方については考えていきたい。

●意見24

- ・少なくとも伐採は保留してほしい。

●意見25

- ・例えば道路の予定地にロープ張って、この幅でこういうふうにやりますとか、倒木する木はテープを巻き、巻いてあるやつは全部切りますよと分かるようにしてほしい。管理組合なら管理組合の役員さんと、地域の連中と一緒に見に行く。そういうことで宿題を一つずつ実現して、まずいのではないかなったらその場でまたもう1回修正するとか。それを少なくとも2月の中旬ぐらいいまでにやってもらいたい。宿題の回答と同時に、1個ずつ皆さんに説明して、了解を得るための行動に入るというふうにしてもらいたい。あとは市の方で勝手にやるというのはまずい。

⇒今日、意見をいただいたので、市の方で勝手にやるということはない。

●意見26

- ・学校と各種施設の全部が出来た後で、全体でじゃあやはり保守のための道路が必要だねとか、代替手段はあろうかとか、それを決定するのが一番妥当ではないか。完成形も見届けてないうちにどさくさで全部が変わってしまったのでは、環境調査の意味も無い。防災や防犯と違って、今す

ぐ着手しないと森が無くなってしまうというわけではないので、そこまで急いでこれだけ問題があるものを着工するというだけではちょっと思いとどまっていたいただきたいと思う。

⇒実際の維持管理の作業というのは、かなり笹とか木を切る。雑木林は、元々明るい林だったが、木が大きくなって生態系がかなり変わってきた。暗い所が好きな小動物が増えてきたということで、木を切らないで放っておくと劣化というか暗い方向に進む。維持管理作業が非常に重要になり、そのための何らかの通路は必要になってくると考えている。

・森が大切だよ、緑が大切だよということであれば、これからいろんな作業が入ってくると思う。ぜひ皆さん、そういうグループを作って、その中で活躍して欲しいというふうに考えている。

●意見27

①自然観察路は通り抜けが出来るように、今の時点で考えているのか。出来れば通り抜け出来ない、小学生が自然学習をするために入るようなイメージにしていだけるとありがたい。

②既存施設の遊歩道についても見直していただけるのか。

⇒①今日出した案では、基本的には通り抜け出来る方がいいと考えている。

②今の既存の遊歩道になっている所は、市道の位置付けがあるので、基本的な考えとしては誰でも通れるが、今のようない意見があるとすると、考えなくてはいけないと感じた。自然観察路整備案やゾーニング案は今日お示しただけで、具体的な計画は平成29年度からになり、今日いただいた意見も踏まえながら、内容について考えていきたい。

●意見28

①管理用の道路について一番問題は、市側の情報のアナウンスがあまりにも少ないということで、次回の意見交換会までもっと詳細な資料をアップしていただけたらと思う。

②いちょう公園の脇の川を通れるように整備をしていただきたい。

⇒②現地を確認しながら、危なくないような形で緑道が通行できるように内部で確認をさせていただいて、危なくないような形を取ればと思う。

●意見29

・グラウンドの様に建物の無い部分については、壁もないため壁から8mのセットバックができないのではないかと。グラウンドの様に建物が無い所は、わざわざ通路をつくらなくとも開けた部分を通らせてもらうなど、建物がある部分と分けて考えてほしい。

●意見30

・自然観察路は、実際は獣道みたいな感じであるがこれをさらに整備していくのか。

⇒自然観察路もこういう形でやるかどうかというのは、これから皆さんと意見交換を通じて決めていく話だと思う。やるのであれば、安全に通れるような形にする必要があると思う。